



みんなの未来研究所
一般社団法人SDGsコミュニティ



学びに向かう力を育む

「ESD for 2030」 NAGOYAプロジェクト

深刻化し、複雑化した社会に生きる子どもたちが、あきらめることなく、

「私の未来は 私がつくる」

「あなたの未来は 私とあなたがつくる」

「みんなの未来は みんなでつくる」

と、満面の笑顔で学び、アクションを起こす実践をうみだしたい。
学ぶことや、学んだことを社会に活かすことの楽しさを感じてほしい。

そのために、私たち大人は、どのような学びの場を

創りだすことができるのでしょうか。

SDGsを達成するために…。



SDGsコミュニティ

100年後、わたしたちはどのように暮らしているのでしょうか。
こどもたちの笑い声、小鳥のさえずり、森の風の爽やかさ、透きとおった冷たい水、
穏やかなまち…。感じるができるのでしょうか。
SDGsに出会いました。「たれ一人取り残さない世界をつくりたい」。
思いを共感しあった教員、こども、学生、シニア、企業の社員、行政職員…。
人々と、どんどんつながっていきます。
人が出会い、活動を生み出す器として「SDGsコミュニティ」を立ちあげました。

ESD for 2030

2019年12月国連総会本会議においてESD(持続可能な開発のための教育)に
関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)の後継枠組みである「持続可
能な開発のための教育:SDGs達成に向けて(ESD for 2030)」が採択されまし
た。ESDがSDGsの目標4には必要な要素であり、SDGs達成のための不可欠な
手段であること」が決議に明記されました。

お問合せ先

一般社団法人SDGsコミュニティ

〒461-0005 名古屋市東区東桜2-18-3 #702

Mobile 090-7024-5090 Email office@sdgscom.com

http://sdgscom.com



本プロジェクトはなごや環境大学共育ゼミナールとして実施します。

「ESD for 2030」 NAGOYAプロジェクト

SDGs達成のための学びが、こどもからおとなまで、すべての世代で実践されることを目指し、スタートしました。今年度は、主に教員、学校教育に関わる人を対象に、学校教育におけるSDGs実践のためのカリキュラムづくりを目指します。

新学習指導要領には、「持続可能な社会の創り手」の育成が書かれています。「すべての学校でSDGs学習が取り組まれること」を目指し、教育に関わる人々と、SDGsカリキュラムの創出、実践の場づくりを行います。

参加対象者 学校教育におけるESD、SDGs学習プログラムを実践したい教員及び教育関係者
※少人数のゼミナール形式で行います。

チューター セミナールの企画・運営担当



井中 宏史 名城大学教職センター教授

愛知県立高等学校教諭、愛知県教育委員会、高等学校教育課指導主事、愛知県教育スポーツ振興財団生涯学習振興課課長、愛知県総合教育センター研究部部長、愛知県立一宮南高校校長、愛知県立一宮西高校校長を経て現在に至る。所属学会は、日本生物教育学会、日本ESD学会。



大鹿 聖公 愛知教育大学理科教育講座教授／一般社団法人SDGsコミュニティ理事

広島大学大学院教育学研究科講師、北海道教育大学旭川校准教授、愛知教育大学教授を経て現在に至る。現在の研究課題は、地域の教育力向上を目指した教員養成カリキュラムの開発、社会教育施設や企業等と連携した教育カリキュラム・教材の開発、教育現場におけるESD/SDGs指導力・実践力の育成。



曾我 幸代 名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科准教授

専門はESD。名古屋市環境審議員や愛知学長懇話会SDGs企画委員を務める。教員や行政職員向けにESDやSDGsについての研修を実施。2017年度から企画・開催しているサステナビリティ・シンポジウムでは、小学生から大学生までが一堂に会し、SDGsに関する学習／研究成果の報告や協働ワークショップなど子ども・若者の声を社会に発信している。



藤井 昌也 名古屋市教育委員会教育次長

26年の教員生活(小学校24年、中学校2年校長)を経た後、教育委員会が勤務8年目(指導室長、学校教育部長等を歴任後、現職)。指導主事の時には「愛・地球博」の考えを継承し、環境に目を向け守る子どもたちを育てる「エコ・フレンドシップ事業」を担当し、「なごや子ども環境会議」を開催した。現在、市教委では「SDGs達成の担い手づくり推進事業」を実施。



新海 洋子 一般社団法人SDGsコミュニティ代表理事

専門はコミュニティワーク(地域福祉)。財団法人名古屋YWCA、NPO法人中リサイクル運動市民の会等に関わり、青少年育成、異文化理解教育、環境教育・環境コミュニケーション事業、ESD人材育成・プログラム開発事業を担当。環境省中部環境パートナーシップオフィス、中部地方ESD活動支援センターで多様な主体による協働事業、ESD事業等に携わった。2019年5月一般社団法人SDGsコミュニティ設立。

活動内容

●SDGs学習プログラム実践のための研究会

年間5回程度の研究会において、既存のSDGs学習プログラムの事例研究、教科連携によるSDGs学習プログラムの研究、モデルプログラムの作成、実践、検証等実施。

●SDGs学習プログラム実践のための研修

夏休み等の教員研修や教育志望の学生を対象にした研修の実施。(2回程度)

●SDGs学習プログラム実践

作成したSDGs学習プログラムのモデル授業実施。(2回程度)

●評価検証

評価検証を行い、改善検討。

●成果の可視化と報告

プロジェクトの成果の可視化及び社会化。ステークホルダーダイアログ実施。



スケジュール(予定)

5~6月	第1回研究会(SDGs授業づくり共有)
7月	第2回研究会(SDGs授業づくり)
8月	SDGs学習プログラム実践のための研修①②
9月	第3回研究会(SDGs授業づくり)
10月	SDGs学習プログラム実践(モデル授業/小学校)
11月	第4回研究会(評価検証①)
12月	SDGs学習プログラム実践(モデル授業/中学校)
1月	第5回研究会(評価検証②)
2月	ステークホルダーダイアログ「ESD for 2030」

